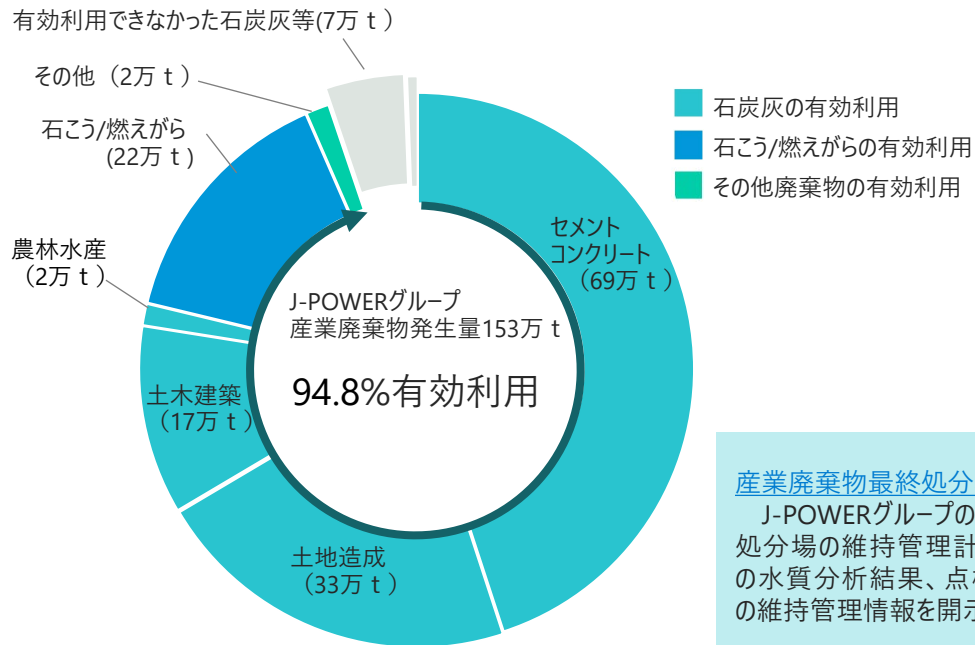


# 循環型社会形成の推進

環境目標に「産業廃棄物の有効利用率 97%程度」を掲げ、廃棄物の有効利用に努めています。

発生した産業廃棄物の98%は、火力発電所からの石炭灰および石こうであり、その95%以上を有効利用しています。また、石炭灰以外の産業廃棄物についても有効利用に努めています。2023年度の実績は、産業廃棄物総発生量153万tのうち、94.8%を有効利用しました。



図：産業廃棄物の排出と有効利用

**産業廃棄物最終処分場の維持管理状況**  
 J-POWERグループのホームページにて、最終処分場の維持管理計画、地下水、放流水の水質分析結果、点検結果、埋立数量等の維持管理情報を開示しています。

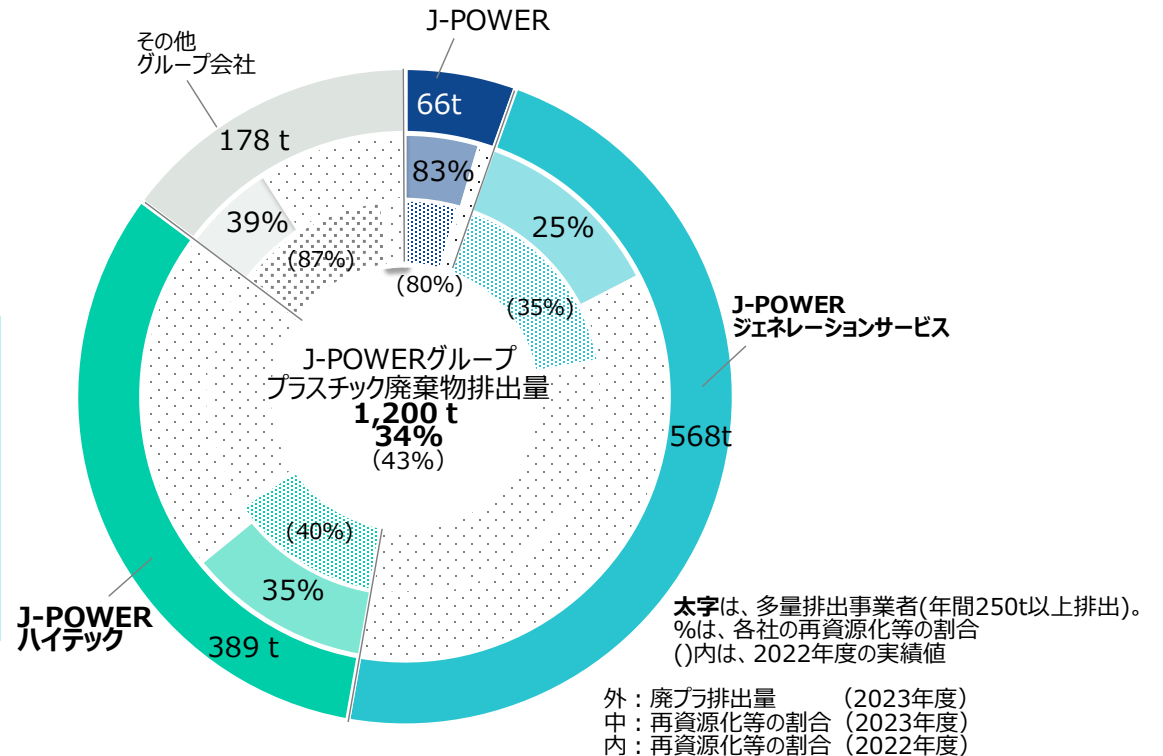
<https://www.jpowers.co.jp/bs/karyoku/maintenance.html>

※統合報告書参照ページ：72ページ

## プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出と再資源化等

設備更新や補修工事等に伴いプラスチックを含む廃棄物が発生するため、分別の徹底と3Rを推進しています。

2023年度の実績では、J-POWERグループのうち「J-POWERジェネレーションサービス(株)」並びに「(株) J-POWERハイテック」がプラスチック資源循環促進法における多量排出事業者 (年250t/年以上を排出したもの) に該当しました。発電設備の設置者であるJ-POWERをはじめ、グループ一体で環境目標「廃プラスチックの排出抑制と再資源化等の推進」を掲げ、廃プラスチックの分別や排出量・再資源化等の把握徹底と3Rの推進(環境行動指針)に引き続き取り組んでいきます。



太字は、多量排出事業者(年間250t以上排出)。%は、各社の再資源化等の割合 ( )内は、2022年度の実績値

外：廃プラ排出量 (2023年度)  
 中：再資源化等の割合 (2023年度)  
 内：再資源化等の割合 (2022年度)